令和6年 第3回 定例会

枚方寝屋川消防組合議会会議録

令和6年12月23日開・閉会

枚方寝屋川消防組合議会

令和6年第3回定例会 枚方寝屋川消防組合議会会議録目次

出席議員	1
地方自治法第121条による出席者	1
議事日程・会議に付した事件	2
開会（午前10時00分）	3
伏見隆管理者開会の挨拶	3
出席状況の報告	4
諸般の報告	4
会議録署名議員の指名	4
議事日程の報告	4
会期の決定について	4
報告第4号 専決事項の報告について	5
高橋利昌寝屋川消防署長の提案理由の説明	5
太田健児枚方消防署長の提案理由の説明	6
認定第1号 令和5年度枚方寝屋川消防組合歳入歳出決算の認定について	7
菊地武久会計管理者の提案理由の説明	7
認定第1号採決	9
議案第8号 枚方寝屋川消防組合長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の制定について	10
吉岡良和総務部長の提案理由の説明	10
議案第8号採決	11
議案第7号 令和6年度枚方寝屋川消防組合補正予算（第1号）	11
吉岡良和総務部長の提案理由の説明	11
議案第7号採決	12
議案第10号 枚方寝屋川消防組合消防職員給与条例等の一部改正について	12
吉岡良和総務部長の提案理由の説明	12
議案第10号採決	15
議案第9号 令和6年度枚方寝屋川消防組合補正予算（第2号）	15
吉岡良和総務部長の提案理由の説明	15
議案第9号採決	16
一般質問	16
奥野美佳議員の質問	16
老朽化した枚方消防署の更新整備について	16
吉岡良和総務部長の答弁	18
奥野美佳議員の再質問	18
老朽化した枚方消防署の更新整備について	18
吉岡良和総務部長の答弁	20
奥野美佳議員の再質問	21
老朽化した枚方消防署の更新整備について（要望）	21

伏見隆管理者閉会の挨拶	22
鍛冶谷知宏議長閉会の挨拶	23
閉会（午前11時05分）	23

令和6年12月23日（月）

令和6年 第3回 定例会

枚方寝屋川消防組合議会会議録

令和6年第3回枚方寝屋川消防組合議会定例会会議録

令和6年12月23日（月）

出席議員（16名）

1番	泉	大介	7番	武田	由利子	13番	広瀬	ひとみ
2番	大地	正広	8番	辻谷	恵一	14番	古田	尚央
3番	奥野	美佳	9番	長友	克由	15番	前田	富枝
4番	鍛冶谷	知宏	10番	西尾	勝成	16番	八尾	善之
5番	川口	肇人	11番	馬場	才			
6番	北川	健治	12番	東	実名子			

地方自治法第121条による出席者

管理者	伏見	隆	警防部長	小嶋	悦喜
副管理者	広瀬	慶輔	枚方消防署長	太田	健児
副管理者	小山	隆	枚方東消防署長	山内	崇
会計管理者	菊地	武久	寝屋川消防署長	高橋	利昌
消防長	伊藤	高博	枚方市危機管理部長	新内	昌子
消防次長兼予防部長	眞先	良次	寝屋川市危機管理部長	林	竜也
総務部長	吉岡	良和			

議 事 日 程（令和 6 年 12 月 23 日 午前 10 時 00 分開会）

- 日程第 1 会期の決定について
- 日程第 2 報告第 4 号 専決事項の報告について
- 日程第 3 認定第 1 号 令和 5 年度枚方寝屋川消防組合歳入歳出決算の認定について
- 日程第 4 議案第 8 号 枚方寝屋川消防組合長期継続契約を締結することができる
契約を定める条例の制定について
- 日程第 5 議案第 7 号 令和 6 年度枚方寝屋川消防組合補正予算（第 1 号）
- 日程第 6 議案第 10 号 枚方寝屋川消防組合消防職員給与条例等の一部改正について
- 日程第 7 議案第 9 号 令和 6 年度枚方寝屋川消防組合補正予算（第 2 号）
- 日程第 8 一般質問

本日の会議に付した事件

日程第 1 から日程第 8 まで

消防組合議会事務局職員出席者

事務局長 中 村 淳 生

(午前10時00分)

○鍛冶谷知宏議長 皆さん、おはようございます。議員各位におかれましては、年末で何かとご多用のところ、消防組合議会にご出席くださいます、誠にありがとうございます。

ただいまから、令和6年第3回枚方寝屋川消防組合議会定例会を開会いたします。

最初に管理者の挨拶をお受けします。

伏見管理者。

○伏見隆管理者 令和6年第3回枚方寝屋川消防組合議会定例会の開会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

議員の皆様には、両市議会終了後の大変お疲れのところ、また、年末で何かとお忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

今年も残すところあと僅かとなりましたが、市民の皆様には健やかな新年を迎えていただくため、12月20日から歳末警戒を実施し、昼夜にわたって警戒を強化しています。

また、不特定多数の方が利用し、混雑が予想される家電量販店等に対する匿名の立入検査を実施するなど、利用者の安全確保と防火管理の強化にも努めているところであり、引き続き、警戒・予防活動に取り組んでまいります。

さて、本年中の火災件数は、12月22日時点で154件と、昨年と比べ、ほぼ横ばいです。年末の慌ただしいこの時期は、火の不始末等で火災件数が多くなる傾向があるため、注意喚起をはじめ、車両巡回広報やホームページ、SNSなど、様々な媒体を活用し、火災予防の啓発に取り組んでまいります。

一方、救急件数につきましては、既に4万件を超え、昨年を若干上回るペースで推移しています。救急需要の増加への対応や職員の働き方の選択肢を増やすため、今年4月から日勤救急隊の運用を開始しました。運用後、近隣の救急隊の出動件数が減少するとともに、救急車の現場到着時間が短縮するなど、目に見えて効果が現れており、今後も職員が働きやすい環境を整えながら救急需要の増加に対応してまいります。

本日は、専決報告、決算認定のほか、4件の議案を提案させていただいておりますので、よろしくご審議の上、ご認定、ご可決いただきますようお願いいたします。

結びに当たりまして、この1年間、消防行政運営にご理解、ご協力をいただき、議員の皆様のご労苦に深く感謝を申し上げ、開会のご挨拶とさせていただきます。

○鍛冶谷知宏議長 管理者の挨拶が終わりました。

次に、職員から諸般の報告をさせます。

○中村淳生事務局長　ご報告申し上げます。

まず、議員の出席状況からご報告いたします。本日の会議のただいまの出席議員は16人、全員出席でございます。

次に、例月現金出納検査の結果でございますが、令和6年度6月分から10月分までをお手元に配付しておりますので、ご参照いただきたいと存じます。

以上で諸般の報告を終わります。

○鍛冶谷知宏議長　ただいま報告させましたとおり、出席議員は定足数に達していますので、これから本日の会議を開きます。

次に、会議規則第83条に基づく、本定例会の会議録署名議員について、3番奥野美佳議員、7番武田由利子議員の2名を指名します。

次に、職員から議事日程の報告をさせます。

○中村淳生事務局長　議事日程

日程第1	会期の決定について
日程第2	報告第4号　専決事項の報告について
日程第3	認定第1号　令和5年度枚方寝屋川消防組合歳入歳出決算の認定について
日程第4	議案第8号　枚方寝屋川消防組合長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の制定について
日程第5	議案第7号　令和6年度枚方寝屋川消防組合補正予算（第1号）
日程第6	議案第10号　枚方寝屋川消防組合消防職員給与条例等の一部改正について
日程第7	議案第9号　令和6年度枚方寝屋川消防組合補正予算（第2号）
日程第8	一般質問

以上です。

○鍛冶谷知宏議長　ただいま報告させました議事日程により、会議を進めます。

日程第1　会期の決定を議題とします。

お諮りします。本定例会の会期は本日1日としたいと思えます。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○鍛冶谷知宏議長 ご異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は本日1日と決定しました。

日程第2 報告第4号 専決事項の報告についてを議題とします。

専決第6号 損害賠償の額を定めることについての提案理由の説明を求めます。

高橋寝屋川消防署長。

○高橋利昌寝屋川消防署長 ただいま上程いただきました報告第4号の専決第6号につきまして、提案理由のご説明を申し上げます。

恐れ入りますが、議案書の1ページをお開き願います。

本件は、地方自治法第292条において準用する同法第180条第1項の規定に基づき、専決処分を行いましたので、同条第2項の規定によりご報告させていただくものでございます。

恐れ入りますが、議案書の2ページをご覧ください。

事故の概要につきましては、令和6年6月7日金曜日19時12分覚知、寝屋川市高柳4丁目方面の一般建物火災に寝屋川消防署本署配備の救助工作車が出動後、帰署のために車両を後退させていたところ、付近市道と私有地の境界にある私有の集水ますの蓋及び枠を左後輪で踏み、破損させたものでございます。

損害賠償額につきましては、令和6年9月3日に示談が整い、当方に全ての過失があることから、8万9,540円を相手方に支払ったものでございます。

参考資料といたしまして、3ページに事故現場の状況図を、また、お手元に物件損害に関する承諾書を配付しておりますので、ご参照願います。

事故原因につきましては、当該蓋の上を通過しても破損しないと思い込んだことによるものでございます。

今回の事故につきまして、ご迷惑をおかけしました関係者の方々に深くお詫び申し上げます。事故後、直ちに事故当事者に対しまして厳しく注意するとともに、全署員に対し、改めて再発防止の徹底を指導したところでございます。今後も引き続き、職員の安全意識の啓発を図り、安全運転と交通事故の防止に努めてまいります。

以上、専決第6号の報告とさせていただきます。

○鍛冶谷知宏議長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○鍛冶谷知宏議長 質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

次に、専決第7号 損害賠償の額を定めることについての提案理由の説明を求めます。

太田枚方消防署長。

○太田健児枚方消防署長 ただいま上程いただきました報告第4号の専決第7号につきまして、提案理由のご説明を申し上げます。

恐れ入りますが、議案書1ページをお開き願います。

本件は、地方自治法第292条において準用する同法第180条第1項の規定に基づき、専決処分を行いましたので、同条第2項の規定によりご報告させていただくものでございます。

恐れ入りますが、議案書の4ページをご覧ください。

事故の概要につきましては、令和6年7月11日木曜日14時30分頃、枚方消防署署庭にて、枚方消防署配備の非常用救急車を移動させようとした際、停車していた相手車両のフロントバンパー右側に当方車両左側面が接触し、損傷させたものでございます。

損害賠償額につきましては、令和6年9月5日に示談が整い、当方側に全て過失があることから、17万円を相手方に支払ったものでございます。

参考資料といたしまして、5ページに事故現場の状況図を、また、お手元に物件損害に関する示談書を配付しておりますので、ご参照願います。

事故原因につきましては、雨が降って視界が悪い中、誘導員を配置しなかったこと、車両を動かす際にサイドミラー及び目視での後方確認がおろそかになったものでございます。

今回の事故につきまして、ご迷惑をおかけしました関係者の方々に深くお詫び申し上げます。事故後、直ちに事故当事者に対しまして厳しく注意するとともに、全署員に対し、改めて再発防止の徹底を指導したところでございます。今後も引き続き、職員の安全意識の啓発を図り、安全運転と交通事故の防止に努めてまいります。

以上、専決第7号のご報告とさせていただきます。

○鍛冶谷知宏議長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○鍛冶谷知宏議長 質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

以上をもって、日程第2 報告第4号の専決事項の報告についてを終結いたします。

日程第3 認定第1号 令和5年度枚方寝屋川消防組合歳入歳出決算の認定についてを議題とします。

提案理由の説明を求めます。

菊地会計管理者。

○菊地武久会計管理者 ただいま上程いただきました認定第1号 令和5年度枚方寝屋川消防組合歳入歳出決算の認定につきまして、提案理由のご説明を申し上げます。

恐れ入りますが、議案書の6ページをお開き願います。

本件は、地方自治法第292条において準用する同法第233条第3項の規定により、監査委員のご意見を付しまして、議会の認定をお願いするものでございます。

それでは、お手元の歳入歳出決算書に基づき、ご説明申し上げます。

恐れ入りますが、決算書の4ページをお開き願います。

初めに、歳入の状況でございますが、第1款 分担金及び負担金から第10款 繰越金までを合わせました歳入合計は、5ページ最下段の収入済額74億1,457万7,871円でございます。

次に、歳出の状況でございますが、6ページをお開きください。

第1款 議会費から第5款 予備費までを合わせました歳出合計は、7ページ最下段の支出済額72億3,734万7,610円で、右下欄外の歳入歳出差引残額は1億7,723万261円でございます。翌年度へ繰り越すべき財源はございませんので、実質収支額は1億7,723万261円の黒字となっております。

内容につきましては、12ページからの歳入歳出決算事項別明細書によりご説明申し上げます。

12ページをお開き願います。

まず、歳入でございますが、第1款 分担金及び負担金の収入済額は、13ページ左から3列目に記載のとおり、70億361万1,402円でございます。

内訳といたしましては、枚方市及び寝屋川市の構成両市からの負担金として、それぞれ42億2,668万646円及び26億9,359万6,000円。また、交野市からの消防指令業務の共同運用及びドクターカー事業に係る負担金8,333万4,756円でございます。

次に、第2款 使用料及び手数料は662万4,430円で、主に危険物関係許可申請等手数料などがございます。

次に、14ページをお開きください。

第3款 国庫支出金は966万9,000円で、寝屋川消防署管内の三井出張所に配備いたしましたタンク車の購入に係る消防防災施設整備費等補助金でございます。

第4款 府支出金は1,938万3,889円で、内訳といたしましては、府負担金として、府立消防学校への教官派遣に係る職員人件費分の795万1,889円、府補助金として、消防ヘリコプター運営補助の1,143万2,000円でございます。

次に、第5款 財産収入は329万1,490円で、第1項 財産売却収入でタンク車1台及び救急車2台の売却によるものでございます。

次に、16ページをお開きください。

第6款 寄附金収入はございません。

第7款 諸収入は2,885万7,284円で、預金利子として60円、また、雑入として、構成両市への派遣職員の人件費分など、2,885万7,224円でございます。

次に、18ページをお開きください。

第8款 組合債は、消防車両等の購入に係るもので、2億1,210万円でございます。

第9款 繰入金は3,775万6,400円で、枚方寝屋川消防組合消防救急基金の繰入金でございます。

第10款 繰越金は9,328万3,976円で、これは前年度からの繰越金でございます。

以上、歳入合計は、19ページ最下段のとおり、74億1,457万7,871円でございます。

次に、歳出でございますが、20ページをお開き願います。

第1款 議会費の支出済額は、21ページ左から3列目に記載のとおり、253万6,570円で、議会運営に要した費用でございます。

第2款 総務費は107万7,184円で、ページをおめぐりいただきまして、23ページに記載の特別職報酬61万1,999円のほか、公平委員会委員報酬18万6,000円及び監査委員報酬14万4,150円などでございます。

第3款 消防費は67億2,741万7,975円でございます。

24ページをお開き願います。

消防費のうち、第1目 常備消防費64億4,343万729円の主な内訳といたしましては、25ページの第1節 報酬2,181万5,614円から、27ページの第5節 災害補償費27万7,100円までの人件費のほか、29ページの第12節 委託料としまして、消防情報システムの保守などに係る2億3,714万9,090円、第13節 使用料及び賃借料として、消防情報

システムの機器借上げなどに係る9,156万4,921円、第17節 備品購入費として、消防用機械器具等の購入に係る3,873万6,597円、第18節 負担金補助及び交付金として、ドクターカー運営負担金やヘリコプター負担金などに係る1億4,423万7,603円でございます。

30ページをお開き願います。

第2目 非常備消防費は83万493円で、両市消防団の活動に係る費用でございます。

第3目 消防施設費は2億8,315万6,753円で、主な内訳といたしましては、第17節 備品購入費が2億5,861万円で、タンク車3台、消防車4台を更新したものでございます。

次に、第4款 公債費は5億631万5,881円で、新消防本部庁舎建設や消防車両更新事業等に係る地方債の元金償還金及び支払利子でございます。

32ページをお開き願います。

第5款 予備費でございますが、予算現額1,000万円で執行はございません。

以上、歳出合計は、33ページ最下段のとおり、72億3,734万7,610円でございます。

次に、少しページをおめくりいただきまして、43ページをご覧ください。

4の基金でございますが、枚方寝屋川消防組合消防救急基金の年度末現在額は2,224万3,600円で、前年度末と比較して3,775万6,400円の減額となっております。これは本部機動救急隊を新設するに当たり、当該基金を取り崩し、整備費用に充当したことによるものでございます。

なお、38ページ以降には、今ご説明いたしました基金を含め、「財産に関する調書」を添付しておりますので、併せてご参照いただきますようお願い申し上げます。

以上、認定第1号につきましての提案理由の説明とさせていただきます。よろしくご審議の上、ご認定いただきますようお願い申し上げます。

○鍛冶谷知宏議長 これから質疑に入ります。質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○鍛冶谷知宏議長 質疑なしと認めます。

これから討論に入ります。討論はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○鍛冶谷知宏議長 討論なしと認めます。

これから本件を採決いたします。本件は原案のとおり認定することにご異議ありま

せんか。

(「異義なし」と呼ぶ者あり)

○鍛冶谷知宏議長 ご異議なしと認めます。

よって、本件は原案のとおり認定されました。

日程第4 議案第8号 枚方寝屋川消防組合長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の制定についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

吉岡総務部長。

○吉岡良和総務部長 ただいま上程いただきました議案第8号 枚方寝屋川消防組合長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の制定につきまして、提案理由をご説明申し上げます。

恐れ入りますが、議案書の14ページをお開き願います。

本件は、長期継続契約の対象を拡大するため、地方自治法施行令第167条の17の規定による条例を制定するに当たりまして、地方自治法第96条第1項第1号の規定により、議会の議決をお願いするものでございます。

本条例は、地方自治法第234条の3に具体的に定められた契約以外の、翌年度以降にわたり物品を借り入れ、または役務の提供を受ける契約で、その契約の性質上、翌年度以降にわたり契約を締結しなければ当該契約に係る事務の取扱いに支障を及ぼすようなもののうち、長期継続契約の対象とする契約を定めるものでございます。

それでは、条例の内容につきましてご説明申し上げます。

議案書の15ページをご覧くださいますようお願いいたします。

第1条は、本条例の制定の趣旨といたしまして、地方自治法施行令第167条の17の規定に基づき、長期継続契約を締結することができる契約を定めることとしたものでございます。

第2条につきましては、長期継続契約を締結することができる契約を定めたものでございまして、第1号では事務機器、その他の物品を借り入れる契約を、第2号では施設の維持または管理、ソフトウェアの利用、その他の役務の提供を受ける契約について定めておりまして、それぞれの物品または役務の提供を欠くことで、本消防組合の事務に支障を及ぼし、かつ、これらを必要とする期限を定め難いもののうち、翌年度以降にわたって契約を締結する必要のあるものを長期継続契約を締結することがで

きる契約とするものでございます。

最後に附則でございますが、本条例の施行日を公布の日からと定めるものでございます。

以上、甚だ簡単な説明でございますが、よろしくご審議の上、ご可決賜りますようお願い申し上げます。

○鍛冶谷知宏議長 これから質疑に入ります。質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○鍛冶谷知宏議長 質疑なしと認めます。

これから討論に入ります。討論はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○鍛冶谷知宏議長 討論なしと認めます。

これから本件を採決いたします。本件は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○鍛冶谷知宏議長 ご異議なしと認めます。

よって、本件は原案のとおり可決されました。

日程第5 議案第7号 令和6年度枚方寝屋川消防組合補正予算(第1号)を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

吉岡総務部長。

○吉岡良和総務部長 ただいま上程いただきました議案第7号 令和6年度枚方寝屋川消防組合補正予算(第1号)の提案理由をご説明申し上げます。

本補正予算の主な内容といたしまして、令和7年度当初から業務を開始する各事業について、今年度中に契約手続を行う必要がある経費につきまして、債務負担行為の追加を行うものでございます。

それでは、恐れ入りますが、議案書の7ページをお開き願います。

第1条 債務負担行為の追加につきましては、「第1表 債務負担行為補正」によりご説明いたします。

9ページをご覧ください。

第1表のとおり、今年度中に契約手続を行う必要がある受付業務委託など、合わせ

て12件を設定するものでございます。10ページから13ページに「債務負担行為に関する調書」を添付させていただいておりますので、ご参照いただきたいと思います。存じます。

以上、甚だ簡単な説明でございますが、よろしくご審議の上、ご可決賜りますようお願い申し上げます。

○鍛冶谷知宏議長 これから質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○鍛冶谷知宏議長 質疑なしと認めます。

これから討論に入ります。討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○鍛冶谷知宏議長 討論なしと認めます。

これから本件を採決いたします。本件は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○鍛冶谷知宏議長 ご異議なしと認めます。

よって、本件は原案のとおり可決されました。

日程第6 議案第10号 枚方寝屋川消防組合消防職員給与条例等の一部改正についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

吉岡総務部長。

○吉岡良和総務部長 ただいま上程いただきました議案第10号 枚方寝屋川消防組合消防職員給与条例等の一部改正について、提案理由をご説明申し上げます。

恐れ入りますが、追加議案書12ページをお開き願います。

本議案は、地方自治法第292条において準用する同法第96条第1項第1号の規定により、議会の議決をお願いするものでございます。

本案は、令和6年人事院勧告及び構成市の改正に準じ、本消防組合においても給与改正を行うものでございます。

本案に係る勧告の主な内容といたしまして、令和6年4月の民間給与との比較に基づく月例給の大幅な引上げと特別給の引上げ等により職員の処遇を改善するものでございます。

改正後の給与条例に基づく消防職給料表につきましては追加議案書の14ページ及び

15ページに、行政職給料表につきましては16ページから18ページ、会計年度任用職員の行政職給料表につきましては20ページ及び21ページに掲載しております。その他の改正内容につきましては、新旧対照表に基づき、ご説明のほうを申し上げます。

それでは、24ページをお開き願います。

改正条例の第1条 給与条例関係ですが、第36条は令和6年12月期の期末手当の支給月数の引上げを行うもので、支給率を正職員は「100分の127.5」に、再任用職員は「100分の71.25」に、第37条は令和6年12月期の勤勉手当の支給月数の引上げを行うもので、支給率を正職員は「100分の107.5」に、再任用職員は「100分の51.25」に引き上げるものでございます。

改正条例の第2条 給与条例関係ですが、第20条は地域手当の支給率を「100分の12」に改めるものでございます。

第36条は、令和7年度以降の期末手当の支給率を、正職員は「100分の125」に、再任用職員は「100分の70」に改めるものでございます。

26ページをご覧ください。

第37条は、令和7年度以降の勤勉手当の支給率を、正職員は「100分の105」に、再任用職員は「100分の50」に改めるものでございます。

改正条例の第3条 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例関係ですが、第8条は令和6年12月期の期末手当の支給月数の引上げを行うもので、その支給率を「100分の127.5」に改めるものでございます。

27ページをご覧ください。

第25条は令和6年12月期の勤勉手当の支給月数の引上げを行うもので、その支給率を「100分の107.5」に改めるものでございます。

改正条例の第4条 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例関係ですが、第8条は令和7年度以降の期末手当の支給率を「100分の125」に改め、第12条はパートタイム会計年度任用職員の基準月額に加算率を「100分の12」に改めるものでございます。

第25条は令和7年度以降の勤勉手当の支給率を「100分の105」に改めるものでございます。

改正条例の第5条 枚方寝屋川消防組合一般職の任期付職員の採用等に関する条例関係ですが、一般職の任期付職員の採用等に関する条例における特定任期付職員の給

与について規定したもので、第4条は各号給の給料月額を引き上げるものでございます。

第5条は、特定任期付職員の令和7年度以降の期末手当について、その支給率を「100分の230」に改めるものでございます。

恐れ入りますが、22ページにお戻り願います。

附則でございますが、第1項は施行期日を定めたもので、改正条例第2条、第4条及び第5条並びに附則第3項及び第5項の規定は令和7年4月1日から施行し、その他の規定は公布の日から施行するものでございます。

第2項は、改正条例第1条及び第3条の規定について、遡及適用及び給与の内払について定めたもので、改正条例第1条の給料表の改正規定及び通年任用の会計年度任用職員に適用する場合における改正条例第3条の給料表の改正規定は令和6年4月1日から、改正条例第1条及び改正条例第3条の期末手当及び勤勉手当の改正規定は同年12月1日から適用するものでございます。

この場合において、改正前の各条例の規定に基づき支給された給与は、改正後の各条例の規定による給与の内払とみなすものです。

第3項は、令和8年3月31日までの間における地域手当の支給率を「100分の11」とするものでございます。

第4項は、令和7年3月31日までの間、通年任用の会計年度任用職員以外の会計年度任用職員の給料月額及び基本報酬の額を従前の例によるものとしてございます。

第5項は、令和8年3月31日までの間におけるパートタイム会計年度任用職員の基準月額の加算率を「100分の11」とするものでございます。

なお、本改正により必要となる人件費は、おおむね2億5,000万円でございます。

以上、甚だ簡単な説明ではございますが、議案第10号の提案理由の説明とさせていただきます。よろしくご審議の上、ご可決賜りますようお願い申し上げます。

○鍛冶谷知宏議長　これから質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○鍛冶谷知宏議長　質疑なしと認めます。

これから討論に入ります。討論はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○鍛冶谷知宏議長　討論なしと認めます。

これから本件を採決いたします。本件は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○鍛冶谷知宏議長 ご異議なしと認めます。

よって、本件は原案のとおり可決されました。

日程第7 議案第9号 令和6年度枚方寝屋川消防組合補正予算(第2号)を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

吉岡総務部長。

○吉岡良和総務部長 ただいま上程いただきました議案第9号 令和6年度枚方寝屋川消防組合補正予算(第2号)の提案理由をご説明申し上げます。

本補正予算の内容といたしまして、令和6年人事院勧告に伴う給与条例の改正により人件費が増額するため、歳入歳出予算を補正するものでございます。

それでは、恐れ入りますが、追加議案書の1ページをお開き願います。

第1条 歳入歳出予算の補正につきましては、歳入歳出それぞれ2億4,422万5,000円を追加しまして、補正後の総額を80億207万8,000円とするものでございます。

続きまして、4ページをお開き願います。

「歳入歳出補正予算事項別明細書」に基づきまして、主な補正予算内容についてご説明申し上げます。

まず、歳入の補正でございますが、第1款 分担金及び負担金、第1項 負担金につきまして、2億4,422万5,000円増額するものでございます。内訳といたしまして、枚方市負担金を1億4,904万8,000円、寝屋川市負担金を9,517万7,000円それぞれ増額するものでございます。

引き続き、歳出につきましてご説明申し上げます。

恐れ入りますが、6ページをお開き願います。

第3款 消防費、第1項 消防費を2億4,422万5,000円増額するものでございます。内訳といたしまして、給料を1億2,439万5,000円、職員手当等を1億421万7,000円、共済費を1,561万3,000円それぞれ増額するものでございます。

以上、甚だ簡単な説明でございますが、よろしくご審議の上、ご可決賜りますようお願い申し上げます。

○鍛治谷知宏議長 これから質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○鍛治谷知宏議長 質疑なしと認めます。

これから討論に入ります。討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○鍛治谷知宏議長 討論なしと認めます。

これから本件を採決いたします。本件は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○鍛治谷知宏議長 ご異議なしと認めます。

よって、本件は原案のとおり可決されました。

日程第8 一般質問を行います。

一般質問については、奥野美佳議員から通告がありました。

奥野美佳議員の質問を許可します。

奥野議員。

○奥野美佳議員 一般質問の機会をいただき、ありがとうございます。

老朽化した枚方消防署の更新整備について質問させていただきます。

まず、1. 消防・救急体制の維持について4点伺います。老朽化し、十分な耐震性能も確保されていないことから、中2階及び5階の使用が制限されている昭和46年(1971年)築の枚方消防署庁舎の更新並びに訓練施設の整備は必要かつ緊急の課題です。そのような中、約2キロ、直線距離では約1.5キロ離れた現禁野小学校、旧中宮北小学校跡地を移転候補地とする枚方消防署の移転建て替え案がさきの全員協議会で報告されました。

消防行政においては、消防力適正配置に係る調査・研究も進められており、全員協議会でご報告いただきました。現枚方消防署の所管する区域では、「5分消防」「5分救急」への対応となる救急体制の増強として、先ほど管理者の挨拶の中でも触れておられましたけれども、本年4月より、本部庁舎からの日勤救急隊(機動救急隊)の運用も始まっています。枚方消防署庁舎及び訓練施設の更新整備が区域全体の消防機能低下につながるなんていうことがあってはならないと考えますが、実際の道路状況等を踏まえ、とりわけ昼間の枚方市駅周辺の滞留人口に鑑み、また、さらに高度化され

た枚方市駅周辺の土地利用に対応する消防機能の確保を想定すると、現消防署の所管する区域における消防、救急、救助の体制が維持できなくなるのではないかと、消防力の低下につながるのではないかと非常に懸念いたしますが、見解を伺います。

次に、2点目です。約2キロ、直線距離で約1.5キロ離れた現禁野小学校、旧中宮北小学校跡地への移転により、現枚方消防署の機能がすっぽりとなくなってしまうと、区域の5分消防体制が維持できることを消防組合が実施したシミュレーションで確認していると市の担当部長の答弁がありました。火災等が発生した際の現場到着時間の1分1秒が極めて重要であることは言うまでもありません。滞留人口や大規模建築物の密集地域である枚方市駅周辺への現着、現場到着時間の早さは絶対的に必要です。移転候補地から枚方市駅周辺への最短道路は通行量の多い片側1車線、下り坂道のバス路線で、雪が積もっただけでも交通麻痺が発生してきた道路です。大規模地震等発生時に車両事故や大渋滞が発生すれば、緊急車両であっても通行できなくなることは容易に予想できます。現場へのアクセス道路が通行不能になって、緊急車両が現着できないなんていうことはあってはならない、あってほしくないと考えます。

伊加賀出張所の機能が枚方消防署及び中振出張所に統合される際にも、5分消防体制は維持される再編であるとの説明がありましたが、伊加賀出張所廃止に伴い、南西に拡大した枚方消防署の所管区域についても、本当に5分で到着できるのでしょうか。伊加賀出張所の再稼働もしない限り、移転候補地から伊加賀地区、淀川河川敷への5分以内の到達は不可能に近いという現場の声もあります。5分消防体制が維持できるかどうかは地図上の距離で判断できるものではないと考えます。そこで2点目です。実際、こうした各種の状況を踏まえたリアルなシミュレーションがなされたのかどうか、伺います。

あわせて、現枚方消防署の所管区域のカバー策として、消防業務と救急業務を分離した救急ステーションの設置を検討されているとのこと。このことは、枚方市駅周辺の救急需要対策を踏まえると、現枚方消防署からの移転に問題があるということを示しているのではないのでしょうか。そこで3点目です。消防と救急業務を分離した体制が本当に効果的・効率的な体制と言えるのか、見解を伺います。

最後に、枚方消防署本署が渚出張所と同一の所管区域に位置することになれば、渚出張所の統合などの見直しを検討されることになるかについても伺います。

○鍛冶谷知宏議長 答弁を求めます。

吉岡総務部長。

○吉岡良和総務部長 奥野議員のご質問にお答えします。

枚方消防署建て替え、移転に係る候補地選定に当たりまして、現行の消防体制を維持することができる立地、十分な面積、浸水想定区域外であること、緊急交通路に容易にアクセスできることを条件に枚方市に依頼してまいりました。候補地案とされております旧中宮北小学校跡地に移転した場合でも、署所の位置、車両の时速などを踏まえたシミュレーション結果におきまして、5分消防体制が維持できることを確認しており、消防力が低下することはないと考えております。しかしながら、気候や交通状況など様々な要因が現場出動に影響を与えることも考えられることから、シミュレーションの結果につきましては一つの客観的な指標であると認識しております。

本消防組合では、多くの署所で消防隊と救急隊が同一署所で勤務する体制となっておりますが、全国的に救急件数が増加の一途をたどる中、救急隊のみが勤務する署所や同一署所に複数の救急隊が配備されている消防本部が見受けられている状況です。本消防組合におきましても、消防需要に対して限られた消防資源を適正に投入するために、渚出張所との統合や枚方市駅周辺の救急需要に対応するための救急ステーションの設置など、署所の再編や適正配置について枚方市の関係部局と共に総合的に検討してまいります。

○鍛冶谷知宏議長 再質問はありませんか。

奥野議員。

○奥野美佳議員 意見を述べ、再質問させていただきます。

シミュレーションの結果は一つの客観的な指標であると認識とのご答弁です。ここで、議長の許可を得て、消防組合から提供いただいた現状（枚方消防署移転前）と枚方署移転・渚廃止のシミュレーションの図を示させていただきます。时速30キロで走行したとの想定で、消防署所の現在地を中心点として、地図上に半径2.5キロの円を描いた円の内側が「5分消防」「5分救急」の到達圏のシミュレーションであるとのこと説明です。こちらが現状（枚方消防署移転前）です。こちらが枚方署移転・渚廃止の図です。この2枚のほうは消防組合のほうから提供いただいた図になります。

この枚方署移転・渚廃止に枚方署の円、こちらのほうを合わせてみると、このような形になります。この朱色で示したところ、ここが今の枚方消防署の所管区域になるんですけども、この部分がすっぽりと抜けてしまうということになります。要するに、

枚方市駅という中心市街地や淀川河川公園というエリアを通常の所管区域の上に重ねている形になっているかと思うんですけども、そこがすっぽりと抜けてしまうという形になります。直線距離で2.5キロ以内が「5分消防」「5分救急」のシミュレーションというのは、人命が安易な検討で済まされているのではないかという現場の声も聞いております。「5分消防」「5分救急」到達圏の確認には、曜日や時間帯を変え、想定出動を繰り返して蓄積された現着時間の実証データからの判断が必要なのではないでしょうか。もっとも、実際の出動報告書に記載された覚知、出動、現着、放水開始、鎮火に基づく確認も必要であると考えます。

さらに、高層化、複雑化した枚方市駅周辺の建築物への対応シミュレーションも求められるのではないのでしょうか。現在の位置もしくは近隣の場所に枚方消防署があるべき理由として、市街地への火災対応については誰もが予想するべきところではあるかと考えますが、消防の使命はそれだけではない。救急、救助についても1分1秒を争う現場である。現場の職員さんの声でもあります。救急については、市街地に近い消防本部に日勤救急隊（機動救急隊）が配置されました。救助について、特に人が集まる市街地中心部においては、災害時に複雑多様化しやすい性質を持つため、市街地に近い現枚方消防署には高度救助隊が配置され、多様化する災害に備えておられます。

救助に必要な車両として、あらゆる災害に対応可能なⅢ型救助工作車や特殊災害用コンテナ、遠距離大量送排水用コンテナ、支援用コンテナを必要に応じて積み分けて出動する特殊災害対応車（支援車Ⅱ型）が配備されています。特殊災害ユニットは、毒劇物事案対応として、近年課題となる市街地テロ対策の主力となっていることから、市街地近くに配置する必要があります。また、遠距離大量送排水ユニットについても、震災時の水利確保が主目的であることから、淀川近辺に配置することが望まれています。同様に、支援のうち、水難救助ユニットは、救助事案の中でも特に現着時間が生死を左右することから、発生率の高い淀川近くに配置することが望まれていますと聞いております。また、現枚方消防署には、火災予防の専門部署、予防課があり、大規模な事業所等の火災予防を担当されています。不特定多数の者が出入りする大規模な特定防火対象物も、31mを超える防火対象物も、言うまでもなく枚方市駅周辺に集中しており、集中・継続的な火災予防が求められるところです。

新宿歌舞伎町ビル火災をはじめ、近年では大阪北区の診療内科クリニック放火火災、札幌ススキノビル火災において多くの命が犠牲となり、全国的にも消防職員の火災予

防業務がいかに重要か認識されるようになっていきます。専門部署である予防課は、市街地近くの配置が求められます。枚方市駅周辺の高度利用、防災公園と連携する災害拠点となる市役所庁舎の整備計画など、現時点では課題の重要性、緊急性が大きく変わっています。様々な考察を行っても、枚方消防署及び訓練施設を現在位置に隣接する⑤街区内に移転建て替えできるよう再検討すべきではないでしょうか。

そこで、2. ⑤街区への整備について2点伺います。

枚方市が定めた枚方市駅周辺再整備基本計画には、「防災機能の強化に向けて、老朽化が進行している枚方消防署の⑤街区への移転を検討します」とか「枚方消防署の⑤街区での建て替えについて検討を進めます」との記載があります。消防組合として、枚方市に対し、枚方消防署の⑤街区への移転の具体化を求めてこなかったのか、伺います。

また、結果的に枚方市が示した今回の移転候補地の案は、小学校の統合により廃校となった住宅街にある旧中宮北小学校跡地でした。廃校に対して複雑な思いもお持ちである地域住民にとって、消防署本署の移転などという話は寝耳に水です。かつてこの本部庁舎を新町に移転する際も、住宅地におけるサイレンやエンジン音などの騒音問題については特に深刻で、地域の皆さんの同意を得るのは大変だったと聞いています。24時間365日、緊急車両の出動がある消防署本署を住宅街に設置するとなれば、近隣住民の環境負担は非常に重いわけです。まして、地域還元性の乏しい跡地活用は、地域住民に二重、三重の負担の押しつけにもなりかねません。旧中宮北小学校跡地を枚方消防署本署の移転先としようとする際に、小学校の統廃合により廃校となった小学校跡地の活用に係る地元住民の複雑な感情を考慮されたのか、伺います。

○鍛冶谷知宏議長 答弁を求めます。

吉岡総務部長。

○吉岡良和総務部長 奥野議員の2回目のご質問にお答えいたします。

枚方消防署の⑤街区への移転整備につきましては、これまでも枚方市の関係部局と協議を重ねてまいりましたが、枚方消防署を整備する上で、様々な災害を想定した訓練をすることができる訓練施設が同一の敷地にあることを希望しており、⑤街区におきましては、訓練施設と消防署が一体となった施設の規模の敷地面積を確保することが困難であることが示されたところです。

また、市民の安全・安心を担う消防署の移転に当たりましては、地域住民のご理解

が必要不可欠であると認識しております。議員ご指摘の環境負担があることは認識しておりますが、一方で、地域からは、防災拠点の整備を旧中宮北小学校跡地に望む声もいただいているとお聞きしておりますことから、本署の移転は地域防災力の向上に貢献できるものと考えております。今後は、枚方市の関係部局と共に地域住民のご意見をしっかりと聞きながら、丁寧に取り組を進めていく考えでございます。

○鍛冶谷知宏議長 再質問はありませんか。

奥野議員。

○奥野美佳議員 3回目となりますので、意見のみ述べさせていただきます。

市も組合も、⑤街区内では枚方消防署新庁舎及び訓練施設に必要な3,500㎡の敷地面積の確保が難しいという理由ばかりを繰り返されています。しかし、枚方市役所の新庁舎は、災害対応機能を強化して拡大される公園が整備される現庁舎のある④街区の市有地に建て替えるのが最も合理的です。そうであるならば、枚方消防署新庁舎及び訓練施設に必要な敷地面積を⑤街区区域内に確保する計画に転換することは容易に可能なわけです。枚方市役所庁舎を現在地の④街区で更新するのではなく、北河内府民センター跡地を含む⑤街区に移転する前提に固執するため、枚方消防署庁舎及び訓練施設を現在地隣接の⑤街区でなく、約2キロ離れた現禁野小学校、旧中宮北小学校跡地への移転を提案するというダブル移転のゴリ押しは、現在、そして将来の枚方市民にとって大きな禍根を残すのではないかと考えます。現枚方消防署の隣接地である⑤街区内に必要な面積の用地を確保して、枚方消防署庁舎及び訓練施設の更新整備を行うことこそが消防力の適正配置の観点からもよりよい選択になるのではないのでしょうか。

加えて、浸水想定区域外であることを条件にされたとのことですが、これは枚方市が旧中宮北小学校跡地を移転候補地とするために持ち出したことについて、組合側が市の意向に迎合したように見えるということを指摘しておきます。淀川堤防決壊による浸水というリスクは、100年以上にわたる琵琶湖・淀川総合治水対策によって極めて小さくされてきました。淀川堤防決壊における浸水時には、エリア一帯が水没するわけですから、その対応策は全く別次元の問題となります。消防署本署庁舎の位置に関して、まず優先すべきリスクは、地震や火災等のリスクであると考えます。枚方市は、枚方市役所の新庁舎の整備位置に対しては、⑤街区が現庁舎がある④街区よりも災害対応上も優位であるとしながら、枚方消防署本署の設置位置となると、淀川堤防決壊

による⑤街区の浸水リスクを持ち出す二枚舌を使っています。とにかく今都合のいい場所を流用するといった考えではなく、市民の安全・安心を第一に考え、この先の枚方市を守り抜く消防署があるべき場所を熟考していただき、さらには防災拠点の整備につなげていくことが消防組合としての課題ではないかと考えます。

繰り返しになりますが、現枚方消防署の隣接地である⑤街区内に必要な面積の用地を確保して、枚方消防署庁舎及び訓練施設の更新整備を行うことが消防行政にとって望ましいのであれば、それを実現する立場で枚方市と調整すべきではないでしょうか。枚方寝屋川消防組合の管理者は誰ですか。枚方市、市長ですよ。同一人物です。本来なら調整可能なはずですが、枚方市役所庁舎の建て替えは⑤街区でなくてもできるというよりも、⑤街区への移転は議会で明確に否決され、承認を得られなかったのですから、計画を見直して、消防署庁舎の望ましい建て替えにかじを切るべきです。それが消防力の適正配置の観点からの管理者としての責務ではないのでしょうか。消防組合におかれましては、あくまでも枚方市における適切な消防、救急、救助体制を確立するという立場をしっかりと持っていただき、枚方市との協議に臨んでいただきたいと強く求めて、私の質問を終わります。ありがとうございました。

○**鍛冶谷知宏議長** これにて奥野美佳議員の質問を終結いたします。

以上をもって、一般質問を終結いたします。

これをもちまして、本定例会に付議された事件は全て議了しました。

閉会に際し、管理者から挨拶をお受けします。

伏見管理者。

○**伏見隆管理者** 閉会に当たりまして、一言お礼のご挨拶を申し上げます。

本日は、令和6年第3回枚方寝屋川消防組合議会定例会を招集させていただきましたところ、議員の皆様におかれましては、年末のお忙しい中、ご出席いただき、また、提案させていただきました各案件について、いずれもご認定、ご可決いただきましたことに厚く御礼申し上げます。

本日いただきましたご意見につきましては、今後の消防行政に反映させていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

枚方・寝屋川両市の市民の皆様には、健やかな新年を迎えていただけるよう、本消防組合としても、職員一人一人が一層気を引き締め、年末年始の業務に当たってまいり存です。

また、新春の「消防出初め式」につきましては、令和7年1月12日午前10時から、枚方市三矢、淀川河川公園、枚方地区、淀川アクアシアターにおいて、枚方市・寝屋川市の各消防団と消防組合の合同で実施する予定です。寒さ誠に厳しい折ではございますが、議員の皆様には、ぜひご臨席いただきますようよろしくお願い申し上げます。

以上、誠に簡単ではございますが、閉会に当たりましての御礼のご挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

○鍛冶谷知宏議長 それでは、私からも閉会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

議員の皆様には、年末何かとご多忙中にも関わりませずご出席を賜り、誠にありがとうございました。また、この1年間、消防組合議会の運営などにご協力、ご支援を賜りまして、重ねて御礼を申し上げます。

本年も残り僅かとなりました。皆様方におかれましては、つつがなく新年を迎えられますよう、高い席からではございますが、ご祈念を申し上げまして、本日の会議の閉会に当たりましてのご挨拶とさせていただきます。

以上をもちまして、令和6年第3回枚方寝屋川消防組合議会定例会を閉会します。皆様、お疲れさまでした。

(午前11時05分 閉会)

前記会議の顛末を記録し、その相違なき事を記するためここに署名する。

令和6年12月23日

枚方寝屋川消防組合議会

議長 鍛冶谷 知宏

枚方寝屋川消防組合議会

議員 奥野 美佳

枚方寝屋川消防組合議会

議員 武田 由利子